

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2024年11月26日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院で人工肛門閉鎖術を行った患者の手術部位感染症（SSI）の後方視的検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	三宅 啓
研究期間	2024 年 11 月 ～ 2025 年 12 月
対象者	1978年から2024年までに当院で人工肛門閉鎖手術を行った患者様
当該研究の意義・目的	人工肛門閉鎖手術は術後の手術部位感染症（SSI）が多いことが知られています。成人の患者様では手術の方法によるSSI発症率の違いや手術前後の感染対策の検討がなされSSIは減少傾向となっていますが、小児の患者様においては十分な検討がなされていない現状があります。本研究では当院で人工肛門閉鎖手術を行った患者様の手術前後の状況を検討し、どういう方にSSIが起りやすいかを明らかにするとともに、SSIの発症率を減少させる感染対策を明らかにすることを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（性別、人工肛門を必要とするに至った疾患、人工肛門を作った位置、合併した疾患など）、 ・臨床データ（手術の方法、使用した抗生物質など） ・術後合併症（SSI など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 小児外科 山城優太郎、三宅 啓 代表 054-247-6251